

## 令和7年度 教科研修会Ⅰ 保健体育科 授業の様子

|           |                             |       |      |
|-----------|-----------------------------|-------|------|
| 単 元 名     | アタック・プレルボール                 |       |      |
| 授 業 学 級   | I年C組(35名)                   | 授 業 者 | 村山 慈 |
| 教 科 の 学 び | 球技、ネット型、ボール操作、ボールを持たないときの動き |       |      |

### 【本時の様子】

生徒は、余裕をもったアタックにつなげるためのセットについて考えるために、ボールの動きやアタッカーの位置に着目して、アタッカーの位置や利き手によってどこを向いてセットをすればよいかチーム練習を通して追究していききました。

初めのうちは体の向きを変えられずセットが安定しなかった生徒が、練習の中でチームの仲間から「もっと早めに動けばいいよ」というアドバイスを受けたことで、仲間がレシーブをしたタイミングで早めに動き出すことができるようになりました。さらに、練習を繰り返す中で、回り込んでアタッカーのいる方向に体の向きを変える姿がありました。

その後の試合の中でも、ボールの動きとアタッカーの位置に応じて体の向きを変えながら何度も高くボールをセットしていました。

終末では、「アタックの人を意識して、右からセットして高くボールを上げたら前回よりも余裕がもてたと思います」と振り返る生徒の姿に、多くの生徒が共感していました。多くのチームで、アタックまでボールをつなげられたと実感した生徒たちは、「次は相手のアタックをレシーブしたい!」という願いをもちました。

次時は、相手のアタックをレシーブするためには、どこでどんな準備をすればよいのかを追究していきます。



チーム練習を通し、回り込んでセットをする生徒  
(グループ追究)



全体追究の様子

### 本時の板書



生徒に寄り添う教師

